
お 知 ら せ

~~~~~

### § 医薬品・医療機器等安全性情報 (厚生労働省医薬食品局)

平成 20 年 11 月 No. 252

~~~~~

医薬品・医療機器等安全性情報No.252が発行されました。その概要は以下のとおりです。詳細は次の雑誌に掲載されますので、関連症例等についてはこれらをご参照下さい。

日本医師会雑誌（1月号）（1，2のみ）

日本病院薬剤師会雑誌（1月号）

日本薬剤師会雑誌（1月号）（1，2，4のみ）

診療と新薬（12月号）

なお、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能です。

1. 酸化マグネシウムによる高マグネシウム血症について

酸化マグネシウムによる高マグネシウム血症については、添付文書の「副作用」の項に「高マグネシウム血症」を記載し注意喚起を図ってきたところであるが、今般、当該副作用報告を整理・調査した結果、本剤を長期投与する場合には定期的に血清マグネシウム濃度を測定するなど、「高マグネシウム血症」について更なる注意喚起を図る必要があるとされたことを受け、関係企業に対し、平成20年9月19日に使用上の注意の改訂指示を行ったので、その安全対策の内容等について紹介する。

2. 重要な副作用等に関する情報

平成20年9月19日に改訂を指導した医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について、改訂内容等とともに改訂の根拠となった症例の概要等に関する情報を紹介する。

1 アゼルニジピン

3. 使用上の注意の改訂について（その201）

次の医薬品について「使用上の注意」の改訂内容等を記載している。

メシル酸プロモクリプチン，カベルゴリン，塩酸タリペキソール，塩酸プラミペキソール水和物，レボドパ，レボドパ・カルビドパ，レボドパ・塩酸ベンセラジド，塩酸ロピニロール，メシル酸ペルゴリド，モダフィニル，カルベジロール，メシル酸ジヒドロエルゴトキシシ，エストラジオール製剤（経口剤，注射剤）（更年期障害の効能を有する製剤），エストリオール製剤（更年期障害の効能を有する製剤），男性ホルモン・卵胞ホルモン混合製剤，エストラジオール製剤（外用剤）（更年期障害の効能を有する製剤），結合型エストロゲン，ボルテゾミブ，クラリスロマイシン，アムホテリシンB（注射剤），ランソプラゾール・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン

次の医療機器について「使用上の注意」の改訂内容等を記載している。

尿管ステント

4. 市販直後調査の対象品目一覧

平成20年11月1日現在，市販直後調査の対象品目を紹介する。

~~~~~

§ 医薬品・医療機器等安全性情報  
(厚生労働省医薬食品局)

平成 21 年 1 月 No. 254

~~~~~

医薬品・医療機器等安全性情報No.254が発行されました。その概要は以下のとおりです。詳細は次の雑誌に掲載されますので、関連症例等についてはこれらをご参照下さい。

日本医師会雑誌（3月号）（1，2のみ）	日本病院薬剤師会雑誌（3月号）
日本薬剤師会雑誌（3月号）（1，2，4のみ）	診療と新薬（2月号）

なお、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能です。

1. 「医薬品医療機器情報配信サービス」について

緊急安全性情報，使用上の注意の改訂指示等，医薬品や医療機器の安全性に関する特に重要な情報が発出された際に，電子メールによりお知らせする「医薬品医療機器情報配信サービス」について紹介する。

2. 重要な副作用等に関する情報

平成20年11月28日に改訂を指導した医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について，改訂内容等とともに改訂の根拠となった症例の概要等に関する情報を紹介する。

- 1 経腸成分栄養剤（エレンタール，エレンタールP，エンシュア・H，エンシュア・リキッド，エンテルード，ツインライン，ハーモニック-F，ハーモニック-M，ラコール）
- 2 ロルノキシカム

3. 使用上の注意の改訂について（その203）

次の医薬品について「使用上の注意」の改訂内容等を記載している。

酒石酸エルゴタミン・無水カフェイン，酒石酸エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン，メシル酸ジヒドロエルゴタミン，アセタゾラミド，アセタゾラミドナトリウム，塩酸ジルチアゼム（経口剤），塩酸エタンブトール，オクトコグアルファ（遺伝子組換え），乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子，ルリオクトコグアルファ（遺伝子組換え），乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子，乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体

4. 市販直後調査の対象品目一覧

平成21年1月1日現在，市販直後調査の対象品目を紹介する。

§ 平成 21 年度医用原子力技術に関する研究 助成について 募集要項

財団法人医用原子力技術研究振興財団

「医用原子力技術に関する研究助成」は、当(財)医用原子力技術研究振興財団設立の趣旨に基づき事業活動の一環として実施されるものです。

原子力技術を用いて行われる、粒子線等によるがん治療を始めとする各種疾病の診断・治療、薬剤、放射線照射技術等の進歩により治療成果は順次向上しております。

しかし、関係者の熱意ある努力にもかかわらず、診断・治療研究の実施や製薬技術の開発にあたってはまだ多くの障害や困難を抱えており、これらの手法について今後一層の改善と進展が期待されています。

このため、高度先端技術である医用原子力技術に関する研究の推進を図り、その研究ならびに若手研究者を支援することを目的として下記により助成を行います。

記

1. 助成対象分野・テーマ

医用原子力技術研究における基礎的研究とともに、診断技術に関する研究開発、治療技術に関する研究開発ならびに薬剤等の研究開発を助成の対象分野とし、平成 21 年度の研究助成対象テーマは、以下の通りとする。

機能/形態融合画像の臨床的有用性に関する研究

IMRT の QA/QC に関する研究

中性子捕捉療法の新なる展開に関する研究

2. 助成対象者

助成対象者は、わが国の医用原子力技術研究に従事する大学、病院、研究機関等に所属する研究者(40 歳以下)または研究グループ(主たる研究者が 40 歳以下)とし、推薦者からの申請を、当財団の選考委員会において選考の上、役員会の承認を得て決定する。

3. 応募方法

助成の申請は、候補者の所属する機関の長(学長、学部長または機関の代表者)または当財団が組織する役員会、委員会等に所属する委員による推薦とする。ただし、当財団選考委員会委員は、推薦者から除くこととする。また、国内に在住する外国籍の者も、翌年の報告会で発表が可能であれば応募できる。

(1) 推薦に必要な書類

所定の推薦書ならびに添付書類

(研究の要旨・意義(和文 800 字以内で記載)等)

(2) 推薦書提出先

財団法人医用原子力技術研究振興財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1 丁目 8 番 16 号

第 2 升本ビル 4 階

TEL: (03) 3504-3961 FAX: (03) 3504-1390

(3) 推薦書提出期限：平成 21 年 4 月 17 日(金)

ただし、郵送の場合は平成 21 年 4 月 17 日の消印のあるものまで受理します。なお、内容等不明な場合は当財団までお問い合わせ下さい。

4. 助成件数および助成金額

平成 21 年度の研究助成件数は 5 件以内とする。助成金額は 1 件につき 100 万円とする。

5. 選考方法

当財団に設けられた「医用原子力技術に関する研究助成」選考委員会(委員長阿部光幸ほか)の選考による。

6. 選考結果の発表

本研究助成が決定した者には、平成 21 年 6 月中旬に推薦者および本人宛に直接連絡する。

7. 研究成果の報告

研究助成の交付を受けた者は、成果報告書および会計報告書を指定の期日までに提出すること。当財団主催の「医用原子力技術に関する研究」成果報告会等の際、口頭発表をすること。

8. 研究論文の提出

本件に関する研究成果の論文には、当財団の研究助成を得た旨を記載し、掲載された論文の別刷りを財団宛速やかに提出すること。

以上

訃 報

隈 寛二 先生

日本核医学会 功労会員

隈病院(神戸市中央区)

平成 20 年 11 月 29 日, 逝去されました。

享年 81 歳。

謹んで, ご冥福をお祈りします。

訃 報

阿部 由直 先生

日本核医学会 評議員

弘前大学大学院医学研究科放射線科学講座

平成 21 年 2 月 9 日, 逝去されました。

享年 57 歳。

謹んで, ご冥福をお祈りします。